

「デジタルえほんアワード2025」開催決定！

世界中から豊かな作品を募集！

国際デジタルえほんフェア実行委員会は、こどもたちの豊かな遊びと学びを育むデジタルえほんの開拓と発展を目的として、「デジタルえほんアワード 2025」を今年も開催します。これまで世界34カ国から作品が集まり、数多くの受賞作品を輩出してきた本アワード。今年も、こどもたちの想像力と創造力を刺激する作品を募集します。

作品募集期間は、2025年5月29日（木）から8月29日（金）まで。審査には、各分野の第一線で活躍する8人の審査員が参画します。審査基準は「たのしい！」「見たことがない！」「世界が広がる！」の3つです。自薦・他薦問いません。世界中に広がるこどもたちの未来を彩る新たなデジタルえほんをたくさんお待ちしています！応募方法・詳細については、公式サイトをご確認ください。

【審査】

審査基準：「たのしい！ 見たことがない！ 世界が広がる！」

- ・応募方法や詳細については公式HPをご参照ください。
- ・自薦・他薦は問いません。

<http://www.digitalehonaward.net/>

【募集締め切り】

2025年8月29日（金）

【結果発表/表彰式】

2025年11月2日（日）「ちょっと先のおもしろい未来2025」にて発表。

詳細につきましては決定次第、公式サイトにてお知らせいたします。



審査員

いしかわこうじ 絵本作家

角川武蔵野ミュージアム

きむらゆういち 絵本作家

木村祐一 お笑い芸人

季里 女子美術大学アート・デザイン表現学科

メディア表現領域教授

宗佳広 Whatever Co. Designer / Creative Director

矢部太郎（カラテカ）お笑い芸人/漫画家

石戸奈々子 国際デジタルえほんフェア実行委員長/

慶應義塾大学教授



いしかわこうじ



角川武蔵野
ミュージアム



きむらゆういち



木村祐一



季里



宗佳広



矢部太郎



石戸奈々子

「デジタルえほん」とは？

パソコン、タブレット、スマートフォン、電子書籍、デジタルサイネージ、電子黒板、テレビなど、あらゆるデジタルデバイスを含む、こども向けデジタル表現の総称です。

このほかにも、AI、AR/VR、ブロックチェーン、メタバース、ロボットなど、新しい技術を活用した、こどもたちの新しい表現や遊びを促す作品を広く募集しています。



賞典

【一般部門】


グランプリ/準グランプリ/審査員特別賞

【キッズ部門】

グランプリ/準グランプリ

などを予定。

推進体制

主催：  国際デジタルえほんフェア実行委員会

共催：  <http://canvas.ws/>

こどものための創造・表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壌を育てることを目標にNPO法人として2002年より活動をはじめました。これまで全国で約3,000回のワークショップを実施し、およそ60万人のこどもたちが参加。産官学さまざまなプレイヤーのみなさまと連携しながら「未来をつくる」プロジェクトを生み出しています。



<https://blaboratory.org/>

Beyond, Borderless, Breakthroughの頭文字をとった「B Lab」は、研究所と銘打ちながら、世界中の大学・研究所、地域、人材をつなぎ、多くの人の得意技や知見を融合させ、新しい技術、サービス、コンテンツ、ビジネス、社会を生み出す参加型プラットフォームです。テクノロジー開発、社会課題解決、新サービス創出などスコープは広いですが、共通項は社会実装で、みんなで作るということ。お父さんもお母さんもおばちゃんも子どももみんな研究員。Lifelong Seekerになり、第2の研究員名刺を持ちます。ソーシャルで、オープンで、参加型で、ユーザーふくめ全ての人がつながり新しい社会を構築し、課題、アイデア、技術、おカネ、スキル、人をマッチングさせ、小さな創造から大きな創造までおもしろい未来をみんなで作ることを目指します。

本件に関する一般、及び報道機関からのお問い合わせ先

デジタルえほんアワード運営事務局

公式WEBサイト：<https://www.digitalehonaward.net/>

連絡先：ehon@digitalehonaward.net